



国土交通省

東北運輸局福島運輸支局
プレスリリース

《発表記者会：福島県政記者クラブ》

令和元年7月31日
国土交通省 東北運輸局 福島運輸支局

「会津 Samurai MaaS プロジェクト」の実証スタート！ ～交付決定通知書の手交式を実施します～

国土交通省東北運輸局福島運輸支局では、「新モビリティサービス推進事業」で選定した「会津 Samurai MaaS プロジェクト」（会津若松市）について、令和元年8月5日、協議会に対し交付決定通知書を手交しますのでお知らせします。これにより、いよいよ会津若松市でもMaaSの取組が始まることとなります。

1. 交付決定通知書の手交式について

- 国土交通省（福島運輸支局長：遠嶋 孝則）より会津 Samurai MaaS プロジェクト協議会（会長：佐藤 俊材）に対して交付決定通知書を手交します。手交式は公開で行い、取材可能です。

【日時】 令和元年8月5日（月）13:30～

【場所】 福島運輸支局 2階大会議室（福島市吉倉字吉田54）

「会津 Samurai MaaS プロジェクト」（会津若松市）【別紙1】

【事業内容】

- ・「教育旅行を対象にした会津まちなか観光MaaS実証」
- ・「鉄道＋バスによる大内宿観光MaaS実証」
- ・「バス＋タクシーによる会津まちなか生活MaaS実証」

2. 交付決定（第1弾）対象事業について

- 国土交通省は、MaaS等の新たなモビリティサービスの推進を支援する「新モビリティサービス推進事業」について、事業の熟度が高く、全国の牽引役となる先駆的な取組を行う「先行モデル事業」として、今年度19事業を選定しているところです【別紙2】。

これらのうち、準備が整った15事業について、事業主体から提出された補助金申請に対し、交付決定を行いました。

- 東北運輸局管内としては唯一の先行モデル事業である「会津 Samurai MaaS プロジェクト」についても、交付決定により実証実験がスタートします。

国土交通省としては、日本版MaaSの実現に向けて、引き続きこれらの取組を支援していきます。



《問い合わせ先》

東北運輸局福島運輸支局

企画調整部門 担当： 星、牛渡

Tel: 024-546-0345 音声ガイダンス「4」

東北運輸局交通政策部

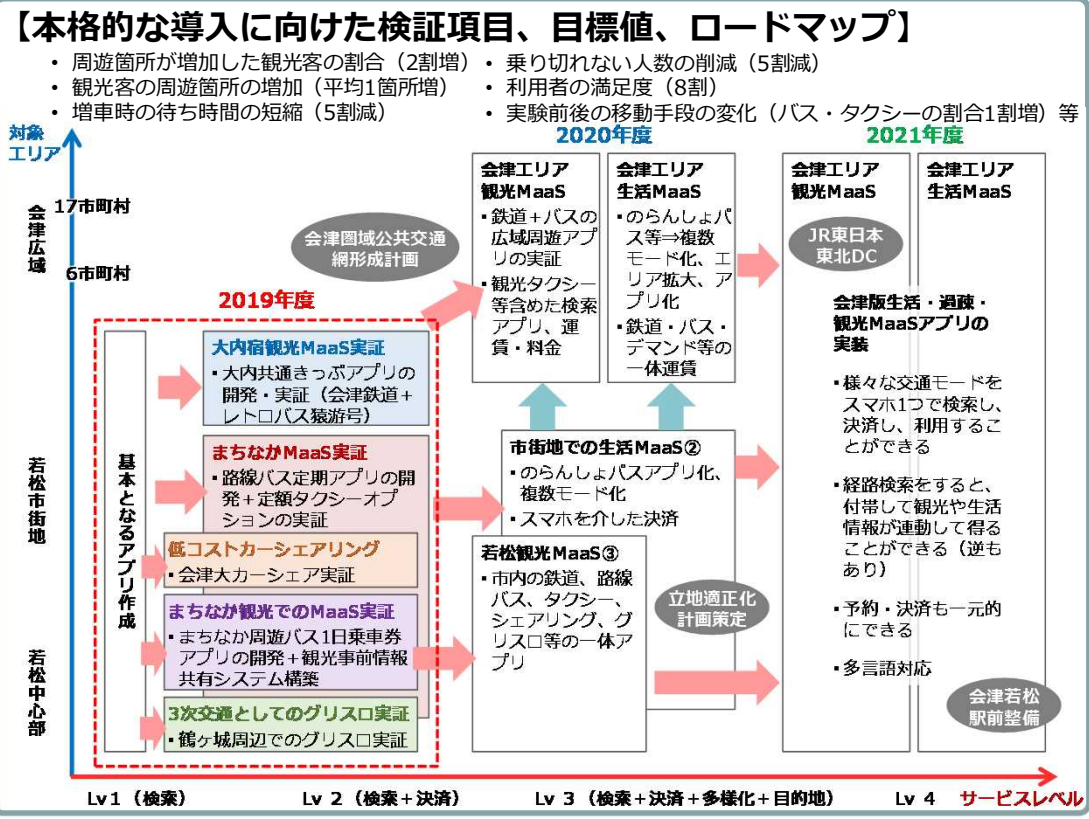
交通企画課 担当： 坂崎、松原

Tel: 022-791-7507

【実験の概要】「地方都市」と「観光地」二面性を有する会津若松市をフィールドに、グローバルなサービスへのAPI接続を前提に、地域で持続的に運営可能な「ローカルなモビリティサービス」を、生活・観光両面での実証実験を通じ構築する。

【協議会の構成員】 会津乗合自動車, 会津鉄道, 東日本旅客鉄道, デザイニウム, アルパイン, NEC会津イノベーションセンター, 福島大学経済経営学類 吉田研究室, KCS 【オブザーバー】 ITS Japan 【協定締結】 会津若松市 【連携団体】 観光ビューロー, 会津圏域公共交通活性化協議会

会津若松市中心部及び市街地部		会津若松市郊外部及び会津圏域	
生活	・マイカー依存 ・まちなかの交通不便性（城下町特有の課題） ・路線バスのみで移動手段を確保することが困難 ・公共交通の担い手不足（運転手不足）	・マイカー依存 ・高齢者の移動手段の確保 ・広域路線バスの維持困難 ・路線バスのみで移動手段を確保することが困難 ・公共交通の担い手不足（運転手不足）	・インバウンド対応 ・観光利用によるランダムな混雑発生に対し、まちなか周遊バスの増車対応が困難 ・まちなか周遊バス以外のバス・鉄道利用が限定的（沿線から外れた観光地への来訪が限定的） ・様々な観光客向けサービス・情報がバラバラに提供されている
	・インバウンド対応 ・観光利用によるランダムな混雑発生に対し、まちなか周遊バスの増車対応が困難 ・まちなか周遊バス以外のバス・鉄道利用が限定的（沿線から外れた観光地への来訪が限定的） ・様々な観光客向けサービス・情報がバラバラに提供されている		

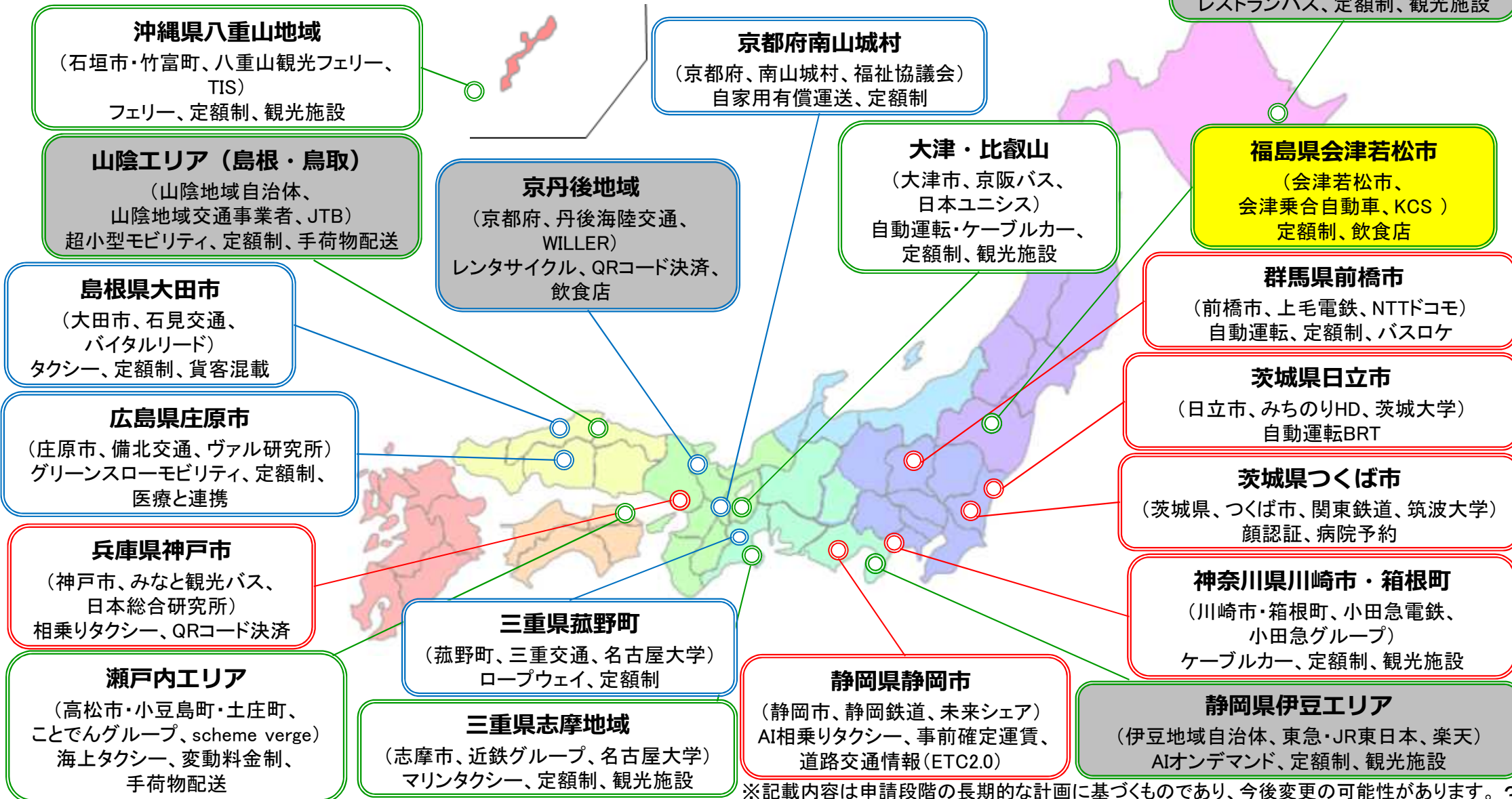


交通課題	プロジェクトで「目指したい姿」	プロジェクト
■観光（中心部） ・教育旅行の自由行動やFIT増加によるランダムな混雑発生に対し、まちなか周遊バスの増車対応が困難 ・まちなか周遊バス以外のバス・鉄道利用が限定的（沿線から外れた観光地への来訪が限定的） ・様々な観光客向けサービス・情報がバラバラに提供されている ・公共交通担い手不足 ・まちなか周遊バス車内で一日乗車券が販売できない	・「まちなか周遊バス」を円滑に利用でき、かつ、他の路線バスや鉄道利用の選択性が高まることで、 観光客の来訪圏域が広がる 。 ・供給制約（乗務員不足）の中、「まちなか周遊バス」の増車対応を効率的に行える。 （需給のミスマッチを小さくする） ・教育旅行のまちなか観光を対象に実証を行う。将来的には、その結果を踏まえて、個人旅行者・FITや会津広域観光への展開を検討する。（事前決済による購入容易化、アプリを通じた供給側の情報共有の仕組み構築等）	I 会津 Samurai MaaS（観光）プロジェクト I-① 教育旅行を対象にした会津まちなか観光MaaS実証 ■教育旅行の事前情報共有システム構築の検討 ■まちなか周遊用の一日乗車券アプリの構築・実証 I-② 鉄道+バスによる大内宿観光MaaS実証 ■大内宿共通引ききっぷアプリの開発（会津鉄道&レトロバス猿遊号） I-③ 3次交通としてのグリスロ実証 ※新モビ推進事業とは別途実施し連携を図る ⇒将来的に、1回券実装や会津広域観光への展開
■観光（会津圏域） ・鉄道（会津線・只見線）からの二次交通の充実・利便性向上 ・インバウンド対応 ・公共交通担い手不足	・会津若松から大内宿までの移動手段として、会津鉄道とレトロバス猿遊号を一体的に利用でき、かつ、発地側での共通引ききっぷを購入（事前予約・決済）できることで、 観光客の利便性が向上し周遊範囲が広がる 。 ・供給制約（乗務員不足）の中、「レトロバス猿遊号」の増車対応を効率的に行える。 （需給のミスマッチを小さくする）	
■生活（中心部及び市街地部） ・マイカー依存 ・まちなかの交通不便性（城下町の課題） ・路線バスのみで移動手段を確保することが困難 ・公共交通担い手不足	・会津若松市中心市街地において、城下町の「強み」である人口密度と バス路線網の密度の高さ ※をベースに、限られた範囲を面的にカバーする優位性がある 乗用タクシーの定額サービスをオプションに加えた「ソフト」 が構築されることで、モビリティサービスが多様化され、 中心市街地のアクセシビリティが向上する 。 ※但し、経路地は多くなりがちであり、各路線の運行回数が多いとは限らない	II 会津城下町 MaaS（生活）プロジェクト II-① バス+タクシーによる会津まちなか生活MaaS実証 ■中心市街地のバス定期券アプリの開発（月極・一日単位） ■定期券アプリによる定額タクシーオプションの実証 II-② 低コストカーシェアリング・目的別マッチングサービスの実証 ※新モビ推進事業とは別途実施し連携を図る ⇒将来的に、郊外部や会津圏域の生活交通への展開
■生活（郊外部及び会津圏域） ・広域路線の維持困難 ・高齢者の移動手段の確保 ・公共交通担い手不足	・バス停別 乗降人数を把握 できる。 ・事前決済により 定期券等を容易に購入 できる	

新モビリティサービス推進事業 交付決定対象事業(第1弾)

○:大都市近郊型・地方都市型(6事業) ○:地方郊外・過疎地型(4事業) ○:観光地型(5事業)

※グレー網掛けの事業(4事業)も、準備が整い次第交付決定予定



※記載内容は申請段階の長期的な計画に基づくものであり、今後変更の可能性あります。3